



## 2020年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月9日

上場会社名 株式会社トーセ

上場取引所 東

コード番号 4728 URL <https://www.tose.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 康人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 中川 尚樹 TEL 075-342-2525

四半期報告書提出予定日 2020年4月14日 配当支払開始予定日 2020年5月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止。代表取締役社長による四半期決算説明の動画配信を予定)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年8月期第2四半期の連結業績(2019年9月1日～2020年2月29日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第2四半期	2,182	21.9	112	—	138	439.7	74	—
2019年8月期第2四半期	1,790	△5.2	△4	—	25	△77.1	1	△97.9

(注) 包括利益 2020年8月期第2四半期 90百万円 (—%) 2019年8月期第2四半期 △4百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第2四半期	9.79	—
2019年8月期第2四半期	0.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第2四半期	6,845	5,946	86.4
2019年8月期	7,238	5,943	81.8

(参考) 自己資本 2020年8月期第2四半期 5,913百万円 2019年8月期 5,917百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2020年8月期	—	12.50	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,152	△3.7	226	△37.7	258	△36.1	142	△42.9	18.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年8月期2Q	7,763,040 株	2019年8月期	7,763,040 株
2020年8月期2Q	182,960 株	2019年8月期	182,960 株
2020年8月期2Q	7,580,080 株	2019年8月期2Q	7,580,237 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2020年4月17日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、参加者の皆様の健康と安全確保を第一に考慮した結果、開催を中止することにいたしました。2020年4月17日15時30分以降、当社ホームページにて当日に使用を予定しておりました決算説明資料と動画を配信する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にある中、当該感染症が内外経済をさらに下振れさせるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、任天堂の「Nintendo Switch」の累計販売台数が5,000万台を突破したほか（任天堂株式会社発表）、次世代ゲーム機「プレイステーション5」や「Xbox Series X」の詳細が徐々に明らかになるなど、ゲーム市場のさらなる拡大に期待が高まる状況となりました。一方で、世界のモバイルゲーム市場規模は、2019年には7兆円を突破（「ファミ通モバイルゲーム白書2020」調べ）したものの、2018年頃から世界レベルでも成熟化の兆しが見え始め、新作タイトルのヒットが難しくなる傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、中長期的な企業価値と資本効率の向上に向けて、中期経営ビジョンに基づき、重点施策として①事業環境の変化に柔軟に対応できる組織体制の強化、②積極的な人材投資、③グローバル体制の基盤づくりへの取り組みを開始しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、デジタルエンタテインメント事業においてスマートフォン向けの開発売上が好調に推移したことやその他事業においてSI事業が引き続き顧客ロイヤリティの向上に努めたことにより、前期に開発した案件の継続案件の受注が好調に推移した結果、21億82百万円（前年同期比21.9%増）となりました。

利益面につきましては、一部のプロジェクトにおいて開発規模の増大に対して原価の抑制が図れたことや当社グループが開発・運営を担当しているスマホアプリ「うたわれるものロストフラグ」のロイヤリティ売上が好調に推移したことなどにより、営業利益1億12百万円（前年同期は営業損失4百万円）、経常利益1億38百万円（前年同期比約5.4倍）、親会社株主に帰属する四半期純利益74百万円（前年同期比73.6倍）となりました。

なお、開発完了タイトル数は、家庭用ゲーム機のマルチプラットフォーム向け1タイトル、スマートフォン向け2タイトルとなりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

#### ①デジタルエンタテインメント事業

当事業におきましては、ゲームを中心とするデジタルコンテンツの企画・開発・運営などの受託を行っております。製品別の内容は以下のとおりです。

ゲームソフト関連の売上は、大型の運営業務が終了したことに伴い、前年同期に比べて運営売上が減少したことなどが影響した結果、4億45百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

モバイルコンテンツ関連の売上は、上記1.（1）に記載のとおり、スマートフォン向けの開発売上やロイヤリティ売上が好調に推移した結果、12億42百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

パチンコ・パチスロ関連の売上は、パチンコの開発売上が好調に推移した結果、98百万円（前年同期比123.8%増）となりました。

この結果、当事業の売上高は17億85百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益80百万円（前年同期比199.3%増）となりました。

#### ②その他事業

当事業におきましては、SI事業、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズによる家庭用カラオケ楽曲配信事業、コンサート事業やクレーンゲーム事業など、新規事業の創出に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、上記1.（1）に記載のとおり、SI事業において引き続き顧客ロイヤリティの向上に努めた結果、前期に開発した案件の継続案件の受注が好調に推移したことから、当事業の売上高は3億96百万円（前年同期比148.2%増）、営業利益32百万円（前年同期は営業損失31百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して3億92百万円減少し、68億45百万円となりました。資産の部におきましては、償還日までの期限が1年以内になった投資有価証券から科目振替えを行った有価証券や仕掛品などが増加したものの、売掛金などが減少したことにより、流動資産が2億29百万円減少しております。なお、償却・除却による固定資産の減少や償還日までの期限が1年以内になった投資有価証券を有価証券へ科目を振替えたことなどにより、固定資産が1億63百万円減少しております。

負債につきましては、未払法人税等、前受金、受注損失引当金などが減少したことにより、前連結会計年度末と比較して3億95百万円減少し、8億98百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いに伴い利益剰余金が減少したものの、その他有価証券評価差額金の変動したことなどにより、前連結会計年度末と比較して2百万円増加し、59億46百万円となりました。

### （キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して1億82百万円増加し、8億27百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、2億84百万円（前年同期は30百万円の資金使用）となりました。主な内訳は、たな卸資産の増加額6億27百万円、前受金の減少額1億9百万円、受注損失引当金の減少額82百万円などの資金の減少があった一方で、売上債権の減少額11億87百万円、税金等調整前四半期純利益1億27百万円などの資金の増加があったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、9百万円（前年同期は1億17百万円の資金使用）となりました。主な内訳は、投資有価証券の償還による収入2億56百万円、定期預金の減少額1億20百万円などの資金の増加があった一方で、投資有価証券の取得による支出4億25百万円、有価証券の取得による支出56百万円などの資金の減少があったことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、94百万円（前年同期は94百万円の資金使用）となりました。これは、配当金の支払額94百万円があったことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の連結業績予想につきましては、本日公表の「2020年8月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」のとおり、2019年10月4日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,585,045	1,647,578
売掛金	1,761,333	573,548
有価証券	246,172	463,971
仕掛品	265,512	892,768
その他	57,586	109,281
貸倒引当金	△1,060	△1,828
流動資産合計	3,914,590	3,685,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,309,767	1,298,711
減価償却累計額	△738,772	△742,560
建物及び構築物(純額)	570,995	556,151
工具、器具及び備品	322,955	228,687
減価償却累計額	△291,261	△199,626
工具、器具及び備品(純額)	31,693	29,061
土地	709,565	709,565
その他	71,773	71,252
減価償却累計額	△61,559	△62,740
その他(純額)	10,213	8,511
有形固定資産合計	1,322,466	1,303,289
無形固定資産		
ソフトウェア	53,422	49,181
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	55,557	51,316
投資その他の資産		
投資有価証券	678,662	590,776
退職給付に係る資産	27,451	29,706
繰延税金資産	92,022	36,047
投資不動産	728,060	728,599
減価償却累計額	△92,520	△98,434
投資不動産(純額)	635,540	630,164
その他	512,012	518,859
投資その他の資産合計	1,945,689	1,805,554
固定資産合計	3,323,713	3,160,160
資産合計	7,238,303	6,845,480

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	194,967	188,505
未払法人税等	130,349	16,299
前受金	143,389	33,824
賞与引当金	125,585	90,032
役員賞与引当金	—	8,362
受注損失引当金	102,577	20,056
その他	272,387	214,443
流動負債合計	969,258	571,524
固定負債		
役員退職慰労引当金	278,778	285,728
その他	46,452	41,634
固定負債合計	325,230	327,362
負債合計	1,294,488	898,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,184	1,313,184
利益剰余金	3,833,889	3,813,365
自己株式	△173,177	△173,177
株主資本合計	5,940,897	5,920,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,482	△2,369
為替換算調整勘定	15,160	10,588
退職給付に係る調整累計額	△16,823	△15,130
その他の包括利益累計額合計	△23,146	△6,911
新株予約権	11,034	18,390
非支配株主持分	15,029	14,741
純資産合計	5,943,815	5,946,593
負債純資産合計	7,238,303	6,845,480

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
売上高	1,790,767	2,182,606
売上原価	1,329,161	1,604,611
売上総利益	461,606	577,995
販売費及び一般管理費	466,221	465,061
営業利益又は営業損失(△)	△4,615	112,933
営業外収益		
受取利息	3,687	5,251
受取配当金	3,393	4,293
投資有価証券評価益	239	—
不動産賃貸料	30,320	21,363
為替差益	6,990	11,750
雑収入	4,531	4,659
営業外収益合計	49,163	47,318
営業外費用		
支払利息	8	25
投資有価証券償還損	—	120
投資有価証券評価損	—	2,320
不動産賃貸費用	18,808	18,916
営業外費用合計	18,817	21,381
経常利益	25,730	138,870
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,159
特別利益合計	—	2,159
特別損失		
固定資産除却損	1,677	615
投資有価証券売却損	190	—
投資有価証券償還損	—	12,794
特別損失合計	1,868	13,409
税金等調整前四半期純利益	23,862	127,620
法人税、住民税及び事業税	4,847	5,168
法人税等調整額	21,485	48,513
法人税等合計	26,333	53,682
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,471	73,938
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,480	△288
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,008	74,226



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,471	73,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	19,112
為替換算調整勘定	△3,511	△4,572
退職給付に係る調整額	1,857	1,693
その他の包括利益合計	△1,682	16,234
四半期包括利益	△4,153	90,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△673	90,460
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,480	△288

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	23,862	127,620
減価償却費	42,353	42,667
株式報酬費用	3,678	7,356
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,195	△35,553
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	743
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,950	6,950
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	2,291	186
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△82,521
受取利息及び受取配当金	△7,081	△9,544
支払利息	8	25
為替差損益(△は益)	△2,621	△7,358
固定資産除却損	1,677	615
投資有価証券売却損益(△は益)	190	△2,159
投資有価証券償還損益(△は益)	—	12,914
投資有価証券評価損益(△は益)	△239	2,320
売上債権の増減額(△は増加)	331,474	1,187,785
たな卸資産の増減額(△は増加)	△505,805	△627,255
前受金の増減額(△は減少)	239,715	△109,564
仕入債務の増減額(△は減少)	44,081	△6,462
その他	△63,900	△119,268
小計	94,439	389,493
利息及び配当金の受取額	5,576	9,460
利息の支払額	△8	△25
法人税等の還付額	7,067	—
法人税等の支払額	△137,339	△114,592
営業活動によるキャッシュ・フロー	△30,264	284,336
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	240,000	120,000
有価証券の取得による支出	—	△56,560
有形固定資産の取得による支出	△30,394	△6,655
無形固定資産の取得による支出	△17,385	△5,184
投資有価証券の取得による支出	△302,172	△425,004
投資有価証券の売却による収入	891	108,230
投資有価証券の償還による収入	—	256,560
投資不動産の取得による支出	△7,235	△539
その他	△1,420	△623
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117,716	△9,777

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△98	—
配当金の支払額	△94,892	△94,685
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,991	△94,685
現金及び現金同等物に係る換算差額	△966	2,659
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△243,939	182,533
現金及び現金同等物の期首残高	920,550	645,045
現金及び現金同等物の四半期末残高	676,611	827,578

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,630,940	159,826	1,790,767	—	1,790,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,414	29,647	40,062	△40,062	—
計	1,641,355	189,474	1,830,829	△40,062	1,790,767
セグメント利益又は損失(△)	26,864	△31,479	△4,615	—	△4,615

(注) 1 売上高の調整額△40,062千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,785,964	396,641	2,182,606	—	2,182,606
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,328	15,440	47,768	△47,768	—
計	1,818,293	412,081	2,230,375	△47,768	2,182,606
セグメント利益	80,396	32,537	112,933	—	112,933

(注) 1 売上高の調整額△47,768千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。